



良樹細根

丹波篠山市立
たまみず幼稚園
城北畑小学校
7月の1



黒枝豆栽培！

6日(火)黒枝豆栽培の一環として、3年生が土寄せを行いました(前は草引き)。朝から蒸し蒸しする日ではありましたが、農業委員さんに土寄せの仕方を教えてもらいながら、汗だくになって頑張りました。一見簡単そうに見えますが、実際にやってみると、土を寄せすぎたり少なすぎたりと、力の入れ具合がなかなか難しいと感じた児童もいました。地域の特産物である黒枝豆栽培、今後もマメにマメにお世話をしていきます。

みんな力を合わせてや
つたら楽しくて、つかれ
てもがんばろうという気
持ちになることが分かっ
た。もっと友だちと力を
合わせていろいろなこと
にチャレンジしてみたく
なりました。

みんな力を合わせてす
ると、一人だったら楽し
くならないけど、みんな
でするとテンションが上
がって楽しかったです

みんなとしながら、「そっ
ち土かぶせてる?」とか、
「うん、できてるよ。」と
かけ合いかけて、声の
かけ合いは大切だと思
いました。

※次回は26日(月)
で夏季休業中ですので職員による支柱立てを行います。



園庭では、芝が地面を這うように伸びてきています。スポーツ用の芝であるティフトンは踏めば踏むほど横に伸びて良いと言われていますが、さすがに園庭の隅っこの方で園児は遊ぶことはほとんどありませんので、上に伸びています。先日、ブルーベリーの実が赤紫色に変身していました。そっと触ると柔らかくなっていたので園児が収穫しました。キュウリも朝に収穫し、少量の塩で揉んでから朝づけの素につけてから給食時に出しています。みかんもイチジクも小さな実をつけ始めました。ヒヨやカラスなどに食べられないよう、園児と作戦を考えなくてはと思っています。



5日(月)丹波篠山市交通安全協会より肥後さんと都築さんを講師としてお招きし、交通安全教室を実施しました。自転車等による事故が絶対に起こらないように、毎年その予防教育として展開しています。県交通安全室7月号に次のような記載がありました。

- ①小学生が交通事故にあった時間(令和2年7, 8月中)
16時~18時が43件でトップ
- ②交通事故にあった小学生の人数 125人(内自転車事故69人)
- ③事故にあったとき、何をしていたか(主な目的)

「友だちの家などに行こうとしていた」がトップ
※夏休み中、外に出るときは特に注意が必要であり、また、家の近くなどの馴れた通り道も注意がそれらがちなので特に気を付けなければなりません。



●○○○暑さ対策によるバス利用について●○○○
昨年度同様、熊谷、菅、野間各地区から通学している(距離2.5km以上)児童については、希望者のみ下校時に限りバスを利用することが出来るようになりました。期間は、7/15~7/20、8/27~9/17までです。



友だちがいるから自然学校！

7日(水)~9日(金)5年生が自然学校を経験しました。待ちに待った自然学校でしたが、予想通り雨に悩まされました。

丹波篠山市同様、豊岡市にも2日間大雨洪水警報が発令されました。雨の合間をぬって浜遊びをした他、オリエンテーリング、キャンドル作り、ストーンアート、カヌー、カヤック体験ができました。閉校式では、全員楽しかったと言っていました。八上小の児童と話ができたことや指導補助員さん(20歳の学生3人、内1人本校卒業生、1人旧畑小学校卒業生)と触れ合えたこと、みんなと同じ体験が同じ時間で同じ場所で行えたことが要因です。友だちがいるから自然学校、友だちがいるから楽しさ倍増でした!2日目の夜、学生さんが一人一人子どもたちに大切にしてほしいことを語ってくれました。

藤井さん:小学生のころからスポーツが好きだったため勉強が少しおろそかになった。多少後悔しているが、楽しい。夢は大人になっていくにつれ変わっていくがそれでいい。新しいことにチャレンジすることもよい。分かれ道は必ず来るけど自分の好きなことをやってほしい。

松葉さん:体を動かすのが好きで、小学生のころからサッカー、習字、水泳などを習ってきた。水泳を始めたきっかけは泳げなかったから。でも、1週間で50m泳ぐことが出来、そのとき達成感を感じた。中2でライバルが現れ大会で負け、悔しくなり練習した。中3で全国大会に出場。高校1, 2年では記録が伸びなかった。どうして?相手を見下していたし、自分は自分だとタカをくくっていた自分がいたことに気が始めた。これではだめと思い、それから勝手なことしないで相手の考えを受け入れよう、相手を尊敬しよう、謙虚になろうと努力した。みんなも謙虚な姿勢で友だちと付き合いしてほしい。

中村さん:小学校、中学校時代は真面目に勉強した。兄弟姉妹みんな勉強ができ、私が一番できなかったのがプレッシャーだった。そのためか、勉強はやらされているという思いが常にあった。高校生になったとき文系の道を選んだが、親から勉強しなさいと言われてなくなった。自分から取り組めるようになった。勉強する意味は、将来の道を選ぶ時の選択肢が広がること。知識があるから選ぶ機会が出来ること、それが勉強するという意味。それと、見えないところで多くの人の支えによって今の自分があるということに気が付いた。見えないところで人が動いているということ。私のスローガンは「笑顔・努力・根気・感謝」の4つ。感謝の心を忘れずに今を生きている。

※児童にとって年齢が近い学生さん。私たち職員とは比較になりません。子どもたちも真剣に聞き入っていました。「僕にはスローガンはないけど、これから見つけていきます。」と感想を述べた子もいました。将来の自分をイメージする、これからの生き方を考える機会になったと思います。少しずつ少しずつ前進です。・・・来年は6年生。学校のよき伝統と風土を創造してほしいと思っています。